

2016年度  
中京大学 教職センター活動報告

2017年9月  
教職センター  
教学部教職支援課

## <報告内容>

---

はじめに

1. 免許取得者数
2. 教育実習の状況
3. 介護等体験の実施状況
4. 教員採用試験結果
5. 教員免許状更新講習
6. 各種教員採用試験支援内容
7. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録

## はじめに

---

建学の精神に則った高い教師力を有する人材の育成を目標として、2015年度に教職センターが発足しました。教職センターは、教科教育法および教科の科目担当教員、教職の科目担当教員、教職支援課の職員によって、つまり全学を見通して教師教育を議論できるメンバーで構成されており、本学の教職課程はこれまで以上に強固な体制での学生支援が可能となっています。日常的な課題から、いま各大学が直面している教職課程再課程申請という大きな課題まで、より俊敏に、より綿密に連携をとった対応が可能になり、本学の教職課程がさらに充実したと感じております。それを裏付けるように、学生の教師を目指そうとする熱意をいっそう強く感じるようになりました。教職課程の質向上が学生の教師を目指す強い意欲へとつながり、またその熱意がわれわれの原動力となって、相乗効果で本学の教職課程がより大きな成果をあげられるように成長してゆくことが期待されます。実際に合格者数を見ても、2016年度の現役合格者数は2015年度よりも増えております。また、毎年200名以上が教員採用試験に合格する実績も維持され、多くの中京大学卒業生が学校現場で活躍しています。今後もこの好循環を停滞させることなく、前進していきたいと思っております。

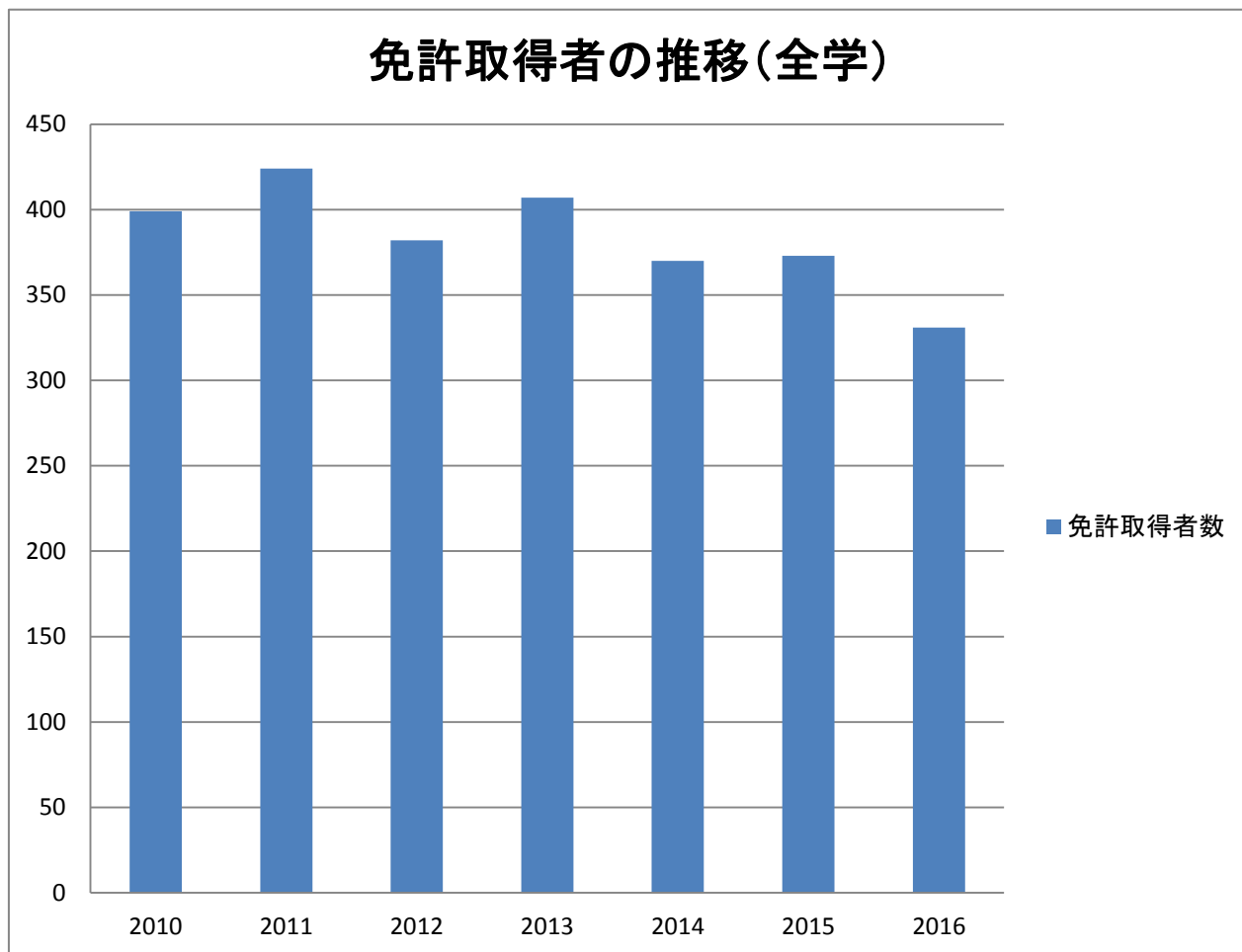
私は2017年度より教職センター長を拝命いたしました。2016年度の活動は、名古屋市教育委員会との連携強化、特別支援学校免許取得プログラム（明星大学との通信教育連携プログラム）の締結が中心でありました。教育委員会との連携では、大学生が教師教育を学ぶ場が増えるという点だけでなく、大学の知識や経験が学校現場にフィードバックされていくという点でも有益であると思っております。今後もより連携を深め、教師教育・学校教育の充実を図ってまいりたいと考えます。また特別支援学校免許については、2020年度の特別支援学校全教諭の免許取得化を視野にいれ、早々に大学として対応したものです。教職センターが効果的に機能した結果であると言えましょう。今後は特別支援学校免許取得者の支援が課題となりますが、これも本学の強力な体制で乗り越えてゆけることと思っております。これらの取り組みを進める一方で、今まさに対応が本格化している教職課程再課程申請についても、早くから情報を入手しながら学内調整を行ってきたこともうかがっています。適正かつ良質な教職課程維持を念頭に対応してまいりたいと思っております。

中京大学の教職課程履修者は、その多くが非常に強い意志を持って教師を目指していると感じます。それに応えることができるようわれわれ教職員も常に前進し、様々な課題を背負う現在の教育界に貢献できる人材育成を行ってまいりたいと思っております。その中心的役割を担うこの教職センターが、学生、教職員、さらには学校現場や卒業生までも幅広く有機的に結合させてゆけたらと考えています。今後も中京大学は、教育現場の第一線で活躍できる人材育成を目指してまいります。

教職センター長 酒井 敏

## 1. 免許取得者数

### 1-1. 免許取得者の推移



年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
免許取得者数	399	424	382	407	370	373	331

※科目等履修者等も含む

免許取得者数は、少しずつ減少の傾向にある。要因としては、教職センターの指導として、教職課程履修を容易なものとして捉えず、強い教職への志望がある学生に教職課程履修をガイダンス等で勧めているためと考えている。なお、2016年度は教職課程履修者そのものが少なかった。

1 - 2. 免許種類別取得者数

学部

2016年度

免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭1種免許状	293	国語	20
		社会	33
		保健体育	221
		外国語(英語)	19
高等学校教諭1種免許状	316	国語	20
		地理歴史	20
		公民	23
		書道	4
		保健体育	222
		工業	2
		商業	4
外国語(英語)	21		
特別支援学校教諭1種免許状	5		
計	614		
申請者の人数(実人員)		306名	

大学院

2016年度

免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭専修免許状	8	国語	1
		数学	1
		保健体育	6
高等学校教諭専修免許状	8	国語	1
		数学	1
		保健体育	6
計	16		
申請者の人数(実人員)		8名	

※免許申請数をもとに算出(科目等履修者数含まず)

本学の特徴として、保健体育免許(中・高)の免許取得者数が多い。(中学および高校の数学、情報の免許取得はは2015年度学部卒業生まで。)

1 - 3. 学部別免許取得者数

学部・学科	区分	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
文学部 日本文学科	実人数	20	22	20	16	14
	中一種免 (国語)	16	18	17	14	13
	高一種免 (国語)	20	22	20	16	13
	高一種免 (書道)	8	4	3	4	4
文学部 言語表現学科	実人数	4	4	6	6	7
	中一種免 (国語)	4	4	6	6	7
	高一種免 (国語)	4	4	6	6	7
	高一種免 (書道)	2	1	0	3	0
国際英語学部 国際英語学科	実人数	11	12	5	10	8
	中一種免 (英語)	9	12	4	7	8
	高一種免 (英語)	11	12	5	10	8
国際英語学部 英米文化学科	実人数	11	9	12	12	13
	中一種免 (英語)	11	9	11	11	11
	高一種免 (英語)	11	9	12	12	13
国際教養学部 国際教養学科	実人数	2	0	1	1	3
	中一種免 (社会)	1	0	1	0	2
	高一種免 (地歴)	0	0	1	0	2
	高一種免 (公民)	1	0	0	1	1
心理学部 心理学科	実人数	3	4	10	7	9
	中一種免 (社会)	2	3	9	7	9
	高一種免 (公民)	2	4	8	6	9
	特支一種免 (知)	1	2	7	1	5
現代社会学部 現代社会学科	実人数	20	17	26	16	12
	中一種免 (社会)	17	15	21	11	10
	高一種免 (地歴)	9	14	17	12	10
	高一種免 (公民)	13	6	16	15	7
	高一種免 (福祉)	0	1	0	0	0

学部・学科	区分	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
法学部 法律学科	実人数	3	3	2	6	2
	中一種免（社会）	3	2	2	6	2
	高一種免（地歴）	0	3	2	4	2
	高一種免（公民）	0	1	1	1	2
総合政策学部 総合政策学科	実人数	3	2	4	6	3
	中一種免（社会）	2	1	4	6	3
	高一種免（地歴）	3	0	3	2	3
	高一種免（公民）	1	1	3	1	1
経済学部 経済学科	実人数	5	7	5	3	9
	中一種免（社会）	3	4	1	2	7
	高一種免（地歴）	2	5	3	1	3
	高一種免（公民）	1	3	4	2	3
	高一種免（商業）	2	1	1	1	2
経営学部 経営学科	実人数	8	6	4	5	2
	中一種免（社会）	2	2	0	2	0
	高一種免（地歴）	1	2	0	1	0
	高一種免（公民）	0	3	0	2	0
	高一種免（商業）	6	3	4	3	2
情報理工学部 情報システム工学科	実人数	4	4	8	5	
	中一種免（数学）	2	3	7	5	
	高一種免（数学）	4	2	8	5	
	高一種免（情報）	1	2	3	1	
情報理工学部 情報知能学科	実人数	3	0			
	中一種免（数学）	3	0			
	高一種免（数学）	3	0			
	高一種免（情報）	1	0			

学部・学科	区分	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
情報理工学部 情報メディア工学科	実人数	2	12	5	6	
	中一種免（数学）	2	9	5	5	
	高一種免（数学）	2	9	5	6	
	高一種免（情報）	1	4	2	2	
情報理工学部 機械情報工学科	実人数	4	1	6	2	
	中一種免（数学）	4	1	5	2	
	高一種免（数学）	3	0	5	1	
	高一種免（情報）	0	0	2	0	
工学部 電気電子工学科	実人数					2
	高一種免（工業）					2
体育学部 体育科学科	実人数	239	219	1		
	中一種免（保健体育）	239	219	1		
	高一種免（保健体育）	239	219	1		
体育学部 健康科学科	実人数	44	60			
	中一種免（保健体育）	44	60			
	高一種免（保健体育）	44	60			
スポーツ科学部 スポーツ教育学科	実人数			101	104	102
	中一種免（保健体育）			101	104	102
	高一種免（保健体育）			101	104	102
スポーツ科学部 競技スポーツ科学科	実人数			95	108	94
	中一種免（保健体育）			95	107	93
	高一種免（保健体育）			95	108	94
スポーツ科学部 スポーツ健康科学科	実人数			34	42	26
	中一種免（保健体育）			34	42	26
	高一種免（保健体育）			34	42	26
免許状取得者数（実人数）		386	382	345	355	306

※免許申請数をもとに算出（科目等履修者数含まず）



## 2. 教育実習の状況

### 2-1. 学部別教育実習者数

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実施者数	410名	440名	372名	380名	316名

#### 2016年度

学部	時期	前期 (5~7月)	後期 (8~12月)	合計人数	備考
日本文学科		14	0	14	
言語表現学科		7	0	7	
国際英語学科		7	1	8	
英米文化学科		11	1	12	
国際教養学科		3	0	3	
心理学科		7	2	9	
法律学科		2	0	2	
総合政策学科		2	1	3	
経済学科		9	0	9	
経営学科		2	0	2	
現代社会学科		13	1	14	
電気電子工学科		2	0	2	
スポーツ教育学科		86	20	106	
競技スポーツ科学科		81	17	98	
スポーツ健康科学科		27	0	27	
総計		273	43	316	

※教育実習ⅠおよびⅡの単位取得者で集計、科目等履修生除く

教職課程履修者の減少とともに、教育実習者数も減少傾向にある。  
 教育実習時期については、春学期が約85%、秋学期が約15%と大半が春学期実習である。  
 学部別ではスポーツ科学部（保健体育）が最も多く、次いで文学部（国語）国際英語学部（英語）となっている。

## 2-2. 都道府県別・校種別教育実習者数

2016年度

都道府県	教育実習者数
愛知	175
岐阜	26
三重	15
静岡	15
長野	9
兵庫	9
滋賀	5
石川	4
徳島	4
愛媛	3
岡山	3
広島	3
山梨	3
神奈川	3
鳥取	3
富山	3
福井	3
北海道	3
沖縄	2
京都	2
高知	2
佐賀	2
山口	2
千葉	2
大阪	2
大分	2
長崎	2
奈良	2
茨城	1
熊本	1
香川	1
山形	1
新潟	1
福島	1
和歌山	1
総計	316

2016年度

校種	教育実習者数
中学校	98
高等学校	209
中学校・高等学校	9
総計	316

都道府県別では東海3県（愛知・岐阜・三重）で約70%を占めるが、東海3県以外にも全国32都道府県という非常に広範囲に渡って教育実習に行っているのも本学の特徴である。

### 3. 介護等体験の実施状況

#### 3-1. 介護等体験(社会福祉施設)実施者数

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実施者数	439名	394名	382名	362名	298名

2016年度

No.	種別	番号	施設名	キャンパス	実施者数	
1	老人ホーム・デイサービス	シ022	特別養護老人ホーム フラワー園	豊田	10	
2		シ032	小原安立	豊田	8	
3		養護老人ホーム	シ041	特別養護老人ホーム 誠和荘	名古屋	8
4			シ044	特別養護老人ホーム みなみ福寿園	豊田	10
5			シ042	養護老人ホーム 誠和荘	名古屋	8
6			シ011	デイサービス星崎	豊田	4
7	デイサービス	シ026	とよた苑デイサービスセンター	豊田	10	
8		シ037	豊寿園デイサービスセンター	豊田	4	
9		シ040	なごやかハウス名西 デイサービスセンター	豊田	8	
10	児童福祉・障害児	シ008	照光愛育園	豊田	12	
11		児童養護施設	シ015	光輝寮	豊田	7
12			シ024	慈友学園	名古屋	10
13			シ029	岡崎平和学園	豊田	11
14			母子生活支援施設	シ027	愛のさと梅坪	豊田
15		シ045		愛知昭和荘	名古屋	8
16		障害児入所	シ004	名古屋市あけぼの学園	名古屋	9
17			シ019	小原学園	豊田	9
18		障害児通所	シ028	豊田市障がい者総合福祉会館	豊田	11
19			シ033	ひまわり	豊田	8
20	障害者(身体・知的)	シ014	春日苑	豊田	10	
21		身体障害者	シ025	ひかりの丘	豊田	8
22			シ043	ハートランド小牧の杜	豊田	9
23			シ046	わかくさ学園	豊田	9
24			身体・知的障害者等	シ001	サポートセンター-being瑞穂	豊田
25		シ006		リサイクル港作業所	豊田	5
26		シ013		はさま	豊田	12
27		シ016		けやきワークス	豊田	3
28		シ018		豊田市障がい者総合支援センター暖(ダン)	豊田	8
29		シ048		サポートセンター-being吹上	豊田	5
30		知的障害者	シ012	養和荘	豊田	12
31			シ034	そだちの家	豊田	10
32			シ036	ぬくもりワークス	豊田	10
33			シ047	いわざき授産所	豊田	8
34		生活保護・救護施設	シ023	愛恵園授産所	豊田	12
合計					298	

教職課程履修者の減少とともに、体験者数も減少傾向にある。実施施設数としては、豊田キャンパスで28施設、名古屋キャンパスで6施設の愛知県内34施設にて介護等体験を実施した。

### 3-2. 介護等体験(特別支援学校)実施者数

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実施者数	440名	388名	388名	366名	295名

#### 2016年度

No.	種別	学校名	キャンパス	実施者数
1	知的障害	愛知県立 みあい特別支援学校	豊田	32
2		愛知県立 安城特別支援学校	豊田	81
3		愛知県立 三好特別支援学校	豊田	28
4		愛知県立 春日井高等特別支援学校	豊田	18
5		愛知県立 豊田高等特別支援学校	豊田	65
6		愛知県立 いなざわ高等特別支援学校	名古屋	34
7		愛知県立 小牧特別支援学校	名古屋	18
8	肢体不自由	豊田市立 豊田養護学校	豊田	19
合計				295

教職課程履修者の減少とともに、体験者数も減少傾向にある。実施学校数としては、豊田学舎で6校、名古屋学舎で2校の愛知県内8校の特別支援学校にて介護等体験を実施した。

## 4. 教員採用試験結果

### 4-1. 教員採用試験結果（県別）

都道府県市	小学校	2016年度 現役																					2017年1月17日現在(含補欠)					合計	2015年度
		中高				中学校					高等学校												特別支援		合計	不明			
		国語	英語	保体	社会	国語	英語	社会	数学	保体	不明	国語	英語	地歴	公民	福祉	数学	情報	商業	保体	不明	幼	小	中高					
埼玉県																											0	0	
千葉県																											0	0	
神奈川県						1	1							1						4							7	12	
川崎市																											0	0	
横浜市	8									4																	12	13	
新潟県	1																										1	0	
石川県																											0	0	
長野県																											0	0	
富山県																											0	0	
静岡県										1																	1	0	
愛知県	10							1	14				2					1	3				2				33	34	
名古屋市	10			1		1		1	1																		14	5	
岐阜県	1							1															1				3	2	
三重県						1	2																				3	2	
滋賀県																											0	0	
和歌山県																											0	0	
大阪府														1													1	1	
堺市	1								1																		2	4	
兵庫県									3																		3	0	
神戸市																											0	1	
岡山県																											0	0	
広島県									1																		1	0	
広島市	1																										1	0	
愛媛県									1																		0	1	
長崎県																											1	0	
合計	32	0	0	1	0	3	3	3	0	26	0	3	0	1	0	0	0	1	7	0	0	0	0	3	0	0	83	75	
2015年度	25	0	0	0	0	5	7	5	1	18	0	1	5	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	75		

都道府県市	小学校	既卒者 ※都道府県市教育委員会及び個人の報告等により確認できた教職支援職集計です。合計欄「-」は不明																					合計	2015年度						
		中高				中学校					高等学校														特別支援					
		国語	英語	保体	数学	国語	英語	社会	数学	保体	不明	国語(含書道)	英語	地歴	公民	福祉	数学	情報	商業	工業	保体	不明			幼	小	中高	養護	不明	
北海道																														
札幌市																												0	1	
青森県																												0	0	
岩手県																												0	0	
宮城県・仙台市	1																											1	0	
秋田県																												0	0	
茨城県																												0	1	
栃木県																												0	0	
群馬県									1																			2	2	
埼玉県																									1			1	1	
さいたま市																												0	0	
千葉県・千葉市	1																											1		
東京都				1																								1	2	
横浜市																												1	1	
川崎市																												0	0	
神奈川県																												0	2	
新潟県																														
新潟市																												0	0	
富山県																												0	1	
福井県																												0	3	
山梨県																												0	0	
長野県									1							1												2	1	
岐阜県								3	2												1							8	13	
静岡県																					1							5	6	
静岡市																												0	0	
浜松市									1																			1	3	
愛知県	14					2	3	2	1	6		1	1					2		8				3	15		58	66		
名古屋市	10					1	1		1	6																	22	16		
三重県	1									3														1	1	1		7	16	
滋賀県																												3	3	
京都府																					1							3	1	
京都市									1																			2	1	
大阪市																												0	0	
堺市																												0	0	
兵庫県										1																		1	1	
神戸市																												0	0	
奈良県																												0	0	
和歌山県	1																									3		4	3	
鳥取県																												1		
岡山県・岡山市										1																		2	0	
広島県・広島市																												0	5	
山口県										1																		1	1	
徳島県																												0	0	
香川県																					1							1	0	
愛媛県								1																				1	2	
高知県																											1	1	0	
福岡県																														2
北九州市																												0	0	
佐賀県																												0	0	
長崎県																												0	0	
熊本県																												0	1	
大分県																												0	1	
宮崎県																											1	2		
鹿児島県																												1	0	
合計	28	0	0	1	0	3	5	5	2	24	0	1	1	0	0	0	1	3	1	14	0	0	4	38	1	0	132	158		
2015年度	31	1	0	2	0	6	2	2	5	32	1	5	2	2	2	0	0	1	0	0	26	2	0	3	33	0	0	158		

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
<b>全合格者数</b>	<b>218名</b>	<b>220名</b>	<b>219名</b>	<b>233名</b>	<b>215名</b>
中学校	97名	81名	73名	84名	74名
高等学校	49名	56名	46名	54名	33名
中学校・高等学校	2名	3名	3名	3名	2名
小学校	44名	47名	57名	56名	60名
特別支援学	26名	33名	38名	36名	45名
その他 <small>(兼教・校種不明)</small>	0名	0名	2名	0	1名

※公立学校のみ

現役・既卒の合計では毎年200名を超える合格者を輩出しており、2016年度も同様な結果となった。  
自治体は東海圏以外にも、神奈川県、横浜市、堺市など、関東・関西圏も含めて全国に渡って合格者が出ている。

#### 4-2. 教員採用試験結果(現役学部別)

2016年度	文		心理	法	経済	経営	工	国英		総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ			大学院	合計
	日本文	言語表現	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語	英米文化	総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	1	1			1							1	3(2)	4(3)		1	12(10)
中学	2	1	1					2(1)	1	2			18(13)	4(3)	4		35(28)
中・高													1				1
小学校				1				1				1	29(18)				32(21)
小・中																	
特別支援			2												1		3
合計	3	2	3	1	1			3(2)	1	2		2	51(34)	8(6)	5	1	83(63)
名古屋/豊田	16(15)											66(47)			1		

※大学院 文学研究科1名

2015年度	文		心理	法	経済	経営	情報理工	国英		総合政策	国際教養	現代社会	情報理工			スポーツ			合計
	日本文	言語表現	心理	法律	経済	経営	機械情報工	国際英語	英米文化	総合政策	国際教養	現代社会	情報システム	情報メディア	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	1					1		2	3(2)						3	2	2	14(13)	
中学	4(3)	1						3(2)	4(3)			5(3)	1		14(11)	3	1	36(28)	
中・高																			
小学校												1			24(18)			25(19)	
小・中																			
特別支援																			
合計	5(4)	1				1		5(4)	7(5)			6(4)	1		41(32)	5	3	75(60)	
名古屋/豊田	19(15)											56(45)							

2014年度	4	2	2				2		5		2(1)	1	2(1)	1	22(18)	7(5)	3	1	54(46)
名古屋/豊田	17(16)											37(30)							

2013年度	11(10)	1			1			4(3)	2			1			29(28)				49(46)
名古屋/豊田	19(17)											30(29)							

2012年度	6(5)	1	1					2(1)	4(2)				1		33(27)		3		51(41)
名古屋/豊田	14(10)											37(31)							

スポーツ科学部(教科:保健体育)を筆頭に、文学部(教科:国語)、国際英語学部(教科:英語)での現役合格者が多い。  
社会系学部においても数は少ないが合格者(社会教科)も出ている。校種で見ると、中学校で多く合格者が出ている。  
2015年度経営学部、2016年度経済学部より商業の現役合格者が出ている。

## 5. 教員免許状更新講習

### 2016年度実施 教員免許状更新講習 講義概要

#### 【必修領域】

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講料	受講人数
教育の最新事情	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の教育と日本の教育を比較しながら、今必要と考えられる学校教育について検討する。</li> <li>「教師のライフコース」を辿りながら、子ども親・教育観について考察する。ワークショップを取り入れる。</li> <li>発達障害児の理解とその支援について検討する。</li> <li>近年の生活状況の変化を踏まえた生徒指導や、カウンセリングマインドに基づいた支援のあり方について検討する。</li> </ul>	大内 裕和(国際教養学部教授) 小峰 総一郎(国際教養学部教授) 首藤 祐介(心理学部助教) 鎌田 陽世(国際教養学部非常勤講師)	6時間	平成28年8月2日	6,000円	60人

#### 【選択必修領域】

講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講料	受講人数	主な受講対象者		
								学校種	免許職種、教科等	職務経験等
学校教育における課題と展望	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年注目を集める学校以外の多様な学びの場(フリースクール等)の活動を題材に、学校教育を巡る状況の変化とその課題について考察する。</li> <li>学力の本質の解明と新学習指導要領とを対照する。</li> </ul>	森田 次朗(現代社会学部講師) 大内 裕和(国際教養学部教授)	6時間	平成28年8月3日	6,000円	30人	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない
教師が活きる学校経営	様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は、基本的に教師個人の仕事遂行が多い職場である。その際に気をつけることや同僚性が大切なことを生徒指導面に焦点を当てて理解を深める。</li> <li>学級崩壊克服から生き生きとした学びの学校づくりを成し遂げた体験を通して理解を図る。</li> </ul>	山田 宏(国際教養学部非常勤講師) 山本 美一(元公立学校校長)	6時間	平成28年8月3日	6,000円	30人	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない

#### 【選択領域】

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講料	受講人数	対象職種	主な受講対象者
健康・スポーツに関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育の概要とその実際。HQC(ヘルスクオリティコントロール)における、特性要因分析、チェックリストの実際とその効果。</li> <li>生涯スポーツからみた健康スポーツの指導：フロー理論にみるスポーツの楽しみ方と指導者の役割</li> <li>学校体育実技(ゴール型球技)を考えるー学習指導要領の内容と現状、指導と評価の問題点ー</li> <li>動きで怪我を予防する。パフォーマンス向上と怪我の予防をつなげる動きの基本と修正アプローチ</li> </ul>	小磯 透(スポーツ科学部教授) 菊池 秀夫(スポーツ科学部教授) 瀧 弘之(スポーツ科学部准教授) 倉持 梨恵子(スポーツ科学部講師)	6時間	平成28年8月1日	6,000円	50人	教諭	中学校保健体育科・高等学校保健体育科教諭向け
言葉への理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会における性差、地域差、世代差などの多様性が言葉に与える影響について具体例を挙げ、学校教育の視点から考察する。</li> <li>多言語社会の言語政策、言語状況、教育の現状を、特にインドの事例を踏まえて報告する。教育言語、母語の重要性、英語の功罪、言語学習負担、インドの教育問題等について考察する。</li> </ul>	吉川 寛(国際英語学部非常勤講師) 榎木 鉄也(国際英語学部教授)	6時間	平成28年8月1日	6,000円	30人	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭向け
新しい国語科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校や高校で漢文を授業するにあたり、役にたつ知識を提供したい。①漢和辞典の使い方を知る。②漢詩における対句の効用を実感するーの二点について説明する。</li> <li>上代から近代に至る主要作品を①季節②行事をテーマに、時代縦断的に教材として取り上げて、その共通点・相違点などに注目することで、新教材としての可能性を追究したい。</li> </ul>	福井 佳夫(文学部教授) 佐々木 俊臣(文学部客員教授)	6時間	平成28年8月4日	6,000円	30人	教諭	中学校国語科・高等学校国語科教諭向け
ワークショップ：協同学習を創る	日本協同教育学会が開発した協同学習の進め方の基本習得のためのワークショップを行う。受講者参加型の講習となる。 ①協同の考え方に立つ学習観・教育観 ②授業で使える協同の技法	有本 高耐(国際教養学部非常勤講師)	6時間	平成28年8月4日	7,000円	24人	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭向け
生活指導と道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ」「非行」など生徒指導上の諸問題に関して、トラブルへの対応にとどまらない、日常的な指導のあり方について実践事例を交えて検討する。</li> <li>ヨーロッパ評議会が開発・推進してきた人権教育実践の一部を体験してもらうとともに、その背景にある経験学習理論を検討し、我が国の道徳教育のあり方を考える。</li> </ul>	井上 陽子(国際教養学部非常勤講師) 原口 友輝(国際教養学部講師)	6時間	平成28年8月5日	6,000円	30人	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭向け

必修領域で1講習、選択必修領域で2講習、選択領域で5講習を実施している。すべての講習を8月に実施しており、多くの現職教員に受講いただいた。

## 6. 各種教員採用試験支援内容

---

教員採用試験対策として、筆記試験および人物評価試験の対策を行っている。特に人物評価試験については、学校教員経験者を指導者として招き、教員採用試験対策だけでなく教員となったときに第一線で活躍することができることも念頭に、実際の学校現場での課題や児童・生徒との接し方などをはじめ、様々な支援や指導を行っている。

### (1) グループ指導会

人物評価試験対策を中心として授業の空き時間に複数の学生が集まって学ぶ学習会。指導者として学校教員経験者が入り、学習状況に応じてアドバイス等を行っている。教員の資質にかかわる学びも行いながら、人物評価試験の枠を超えた指導も行っている。教員採用試験対策として3年生秋学期、4年生春学期（教員採用試験直前）まで行い、試験対策ではない学校教員として教壇に立つ上で必要な指導を4年生秋学期で行った。

### (2) 小論文個別添削

低学年から体系的に行われるガイダンス形式の講義で小論文の書き方を学び、実際に自身で書き上げた願書等の自己PR文や小論文過去問題、さらに提示した予想問題に対して書き上げてきた文章を1対1の個別形式で指導する。個人に合わせたきめ細かい指導を行い、合格できる小論文の書き方を身につけさせる。3年生秋学期から教員採用試験2次試験直前までの期間で実施した。また、個別で見つかった課題を全体にフィードバックする機会としてグループ指導会を利用し、合わせて小論文模擬試験も行った。

### (3) OB・OGによる学習会

名古屋市採用試験対策（1次・2次）や、その他自治体向け採用試験対策（1次・2次）でOB・OG教員を招き1日かけて面接対策と実技対策を行った。それぞれ、1次対策は4～5月、2次対策は8月に行った。在学生だけでなく卒業生も参加した。

### (4) 教員採用試験合格者報告会

教員採用試験合格者による体験談報告会で各キャンパスごとに行った。合格者より試験勉強方法や取り組み方、モチベーションの維持などを報告してもらい、個別面談も通して次年度教員採用試験を受ける学生にアドバイスを行ってもらった。特に個別で相談できるため、専門教科の勉強方法などとても参考となったという後輩の感想も多かった。また複数の自治体への受験方法など受験テクニックに関するアドバイスも行ってもらった。

### (5) 教員採用試験対策講座

小論文を除いた筆記試験対策として、一般教養、教職教養、そして一部専門教養試験の対策講座を実施。2年生秋学期よりまずは基礎学習としてスタートし、3年生で年間を通してより深く学び、4年生で過去問題を中心とした対策を行った。また、長期休暇後など計画的に模擬試験も実施し、学生自身の受験進捗や成果が図れるように工夫した。

### (6) その他

学校ボランティアの紹介、教育機関や学校との連携事業等を紹介するガイダンスは低年次より行い、進路選択としての教職への意思決定や学校現場経験を積めるよう早期から支援を行った。また進路相談など、個別の対応も随時行った。



## 7. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録

### (1) 教職センター委員会

回	日時	場所	議題
1	2016年4月27日(水)	15号館1階 第8会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職センター委員会委員長の選出について</li> <li>・2015年度教員免許状取得者数及び件数について</li> <li>・2015年度教員採用試験合格者数について</li> <li>・教職センター中期計画および2016年度目標設定について</li> <li>・教職課程再課程申請関係について</li> <li>・特別支援学校教諭免許状取得プログラムについて 等</li> </ul>
臨時	2016年10月5日(水)	センタービル9F 第5会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程再課程申請における学長からの諮問について</li> <li>・教職課程再課程申請に向けた学部教職カリキュラムの点検について 等</li> </ul>
2	2016年11月30日(水)	センタービル9F 第5会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度教員採用試験合格者数について</li> <li>・中京大学教師教育論叢について</li> <li>・2017年度「教員免許状更新講習」について</li> <li>・教職履修カルテの電子化について</li> <li>・名古屋市教育委員会との連携について 等</li> </ul>

### (2) 教職センター会議

回	日時	場所	議題
1	2016年6月1日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度部会および活動報告について</li> <li>・教職センター中期計画および2016年度目標設定について</li> <li>・特別支援学校教諭免許状取得プログラムについて</li> <li>・教職履修カルテの運用について 等</li> </ul>
2	2016年7月6日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの報告</li> <li>・教職課程再課程申請について(接続科目について) 等</li> </ul>
3	2016年9月28日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの報告</li> <li>・特別支援学校教諭免許状取得プログラムについて</li> <li>・2017年度教員免許状更新講習について</li> <li>・2016年度教員採用試験結果について 等</li> </ul>
4	2016年11月16日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程再課程申請の最新情報について</li> <li>・名古屋市教育委員会との連携について</li> <li>・特別支援学校教諭免許状取得プログラムについて</li> <li>・2017年度教員免許状更新講習について</li> <li>・2016年度教員採用試験結果について 等</li> </ul>
5	2017年2月15日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程再課程申請の最新情報について</li> <li>・名古屋市教育委員会との連携について</li> <li>・特別支援学校教諭免許状取得プログラムについて 等</li> </ul>

### (3) 各種部会

#### ●教育委員会人事交流検討部会

回	日時	場所	議題
1	2016年7月27日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市教育委員会との連携について(方法・進め方) 等</li> </ul>

#### ●教職課程法令改正対策部会

回	日時	場所	議題
1	2016年6月29日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職科目担当教員の業績について(準備依頼等)</li> <li>・カリキュラムイメージについて(新科目設置検討) 等</li> </ul>
2	2016年9月15日(木)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職科目担当教員の業績について(準備依頼等)</li> <li>・学部教職カリキュラムの点検について 等</li> </ul>
3	2016年12月21日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程再課程申請スケジュールおよび申請書類について</li> <li>・教職課程コアカリキュラムについて 等</li> </ul>